

稲刈りの後、乾燥機にかけて、袋詰めしました。たくさん収穫できました。



みんなでお祝いパーティーしよう

おいしいぞ！楽しみです！(^^)！

さんま&収穫祭



10月18日(土)
11:00~14:30
とみはりの杜
バーベキュー場



とれたての新米みんなで食べましょう(*~*)
サンマ・豚汁付きです。秋の味覚たっぷり味わおう



9月15日は敬老の日でした。

ノスタルジックに人生振り返ったりして、迷わずデミハンバーグ頼んでいました。若い頃のとびきり贅沢な洋食でした。美味しかった！(^^)！ふと見るとお隣の少し先輩の？お客様もやはりハンバーグでした。うれしく感じました。

敬老を祝うめでたい日には、めでたい焼きですね。冷やしたい焼きに贅沢にバニラアイストッピングで食べました。

ハートフルふきあげニュース

・協同 ハートフルふきあげ全事業所・協賛 ハートフルふきあげ保護者の会
ニュース VOL.41 2025.9.25



ハートフルふきあげ
で収穫した初めての
コシヒカリです



米とは稲刈りをしてもみ殻を取り除いたものをいいます。玄米の状態です。さらにめかをとって精米してたべるのが現代では多いようです

9月になり稲刈りの季節になりました。5月号でお知らせしましたようにハートフルふきあげ農業部門では田植えの写真を掲載し稲作を始めることを宣言いたしました。そして、初めての稲刈りを迎えます。ではどうなのか緊張感が漂います。水の管理は怠りなく、稲の生育の邪魔にならないように雑草の駆除を頻繁にしました。ましてや今年の夏は連日猛暑、さらに雨量が少なく水不足です。状況によっては専門家にお聞きしました。「米の漢字を分解すると八・十・八」になります。これは昔から米ができるまでに八十八の手間がかかることから作り出された漢字といわれています。確かにその通り、多くの工程が必要なのだと痛感しました。

日本人にとってのお米

①主食です。おかずとあわせてご飯を食べるのが日本人の生活の基本になっています。長期の保存がきくこと、さらに栄養価も高く、飽きがこないことで、私たちの生活に欠かせないものです。

②「年貢の納め時」という言葉を聞いたと思います。現代は税をお金で支払いますが、江戸時代は米で支払いました。

③お米は神々からの授けいものであるという言い伝えから、神社にお米を奉納します。自然の恵みと人間の労働がおさびついた神聖な品として扱われています。神社の数が一番多い県は米どころの新潟県です。



稲作に携わった皆さんに 聞きました

Q1 どんな苦勞がありましたか？

A1 多数の利用者様、支援員がかかわるのでこまめな情報共有をしました。田んぼで使用する水は、稲作している農家みんなのものなので順番があります。毎日の水の管理に気を遣いました。

Q2 今年は記録的な猛暑でしたが、影響はありましたか？

A2 雨も少なかったからでしょうか、田んぼの地割れがしたので心配になりました。また、実り始めたころ黒い実があったことも心配でした。不思議なことですが、例年よりスズメが少なかったのです。

Q3 お米づくりを通して学ぶこと何ですか？

A3 自然の環境を生かしての仕事なので、天のみ神のみぞ知ることなのでしょう。



9/17 コシヒカリの稲刈りを実施しました。みなさん大喜び



夏の終わり 夏の終わりには ただあなたに会いたくなるの いつかと同じ 風吹き抜けるから

森山直太朗「夏の終わり」より

この時期よくラジオでかかる曲です。ラブストーリーに聞こえますが、戦争で亡くなった人
を思って作った歌です。

猛暑の連続だった毎日でしたが、ようやく夏の終わりが見えてきました。
虫の鳴き声が聞こえ始め、日差しの傾きが変わり、秋の雲が見られるよ
うになりました。なぜか寂しさを感じる9月です。季節のしめくくり郷愁
を感じながら今年の夏を振り返ります

2025夏の思い出

放課後等デイサービス夏休みの思い出



夏の高校野球栃木県大会、始球式に鹿沼たんぽぽ事業所 K 様が登場しました。お父様が野球をしていた縁で小学
一年生ながら堂々の入場、ナイスピッチング、ストライク！いい思い出になりましたね♡



毎日暑かったので、外での遊びができませんでした。壬生わんぱく公園の室内遊技
場に出かけました。千代田あおぞらでは部屋の中で楽しめるようなお祭りを計画し
ましたブロックも想像力を発揮して素晴らしい作品ができましたね。
すいか割は現代でも夏の風物詩です。

だれかさんが だれかさんが だれかさんが みつけた 小さい秋 小さい秋 小さい秋 みつけた

サトウハチロー作 「小さい秋みつけた」



秋はかすかな変化から気づくものかもしれません。とみはりの杜の
掲示物にも小さい？大きいかも(＼＼＼)秋見つけました



9月1日は102年前関東大震災が起こった日です。東京を中心に死
者・行方不明者10万人以上の大惨事でした。その日を教訓として防
災意識を高めようと制定されています。



あおぞら事業所は、夏休みを
利用して埼玉県防災学習セン
ターを見学しました。良い体験
学習になりました。



9月は障がい者雇用支援月間です。

いい機会なのでハートフルふきあげ設立に至るまでの経
緯を紹介させていただきます。

設立 50 年を超える株式会社伊津井電機を経営してい
く中で、伊津井啓一会長は障がい者様を社員として積極
的に雇用してまいりました。そうした中で一般就労が困
難な方はもとより、一般就労を目指す障がい者様に対
しても、就労訓練の場を提供し、希望と生きがいを創造
して頂きたいと考えるようになりました。

当法人は、地域の障がい者様が自立して生き生きと日
常生活が送れるよう、就労機会の提供、日常生活の援
助、社会参加の場の提供を行うことを目的としています。

